

# **WARROTARY**

所沢西ロータリークラブ RI第2570地区 第 3 グループ

会長: 内野 忍副会長: 栗原 和明幹事: 徳江 和宏会長エレクト: 木下 精基

クラブ管理運営委員長: 新井 孝敏

例会場: 〒359-1145 埼玉県所沢市山口2942 掬水亭

事務局: 〒359-1118 埼玉県所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F

例会日: 毎週火曜日(PM12:30~13:30)

TEL.04-2925-7111 TEL.04-2926-1666

FAX.04-2926-5151

E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp HP http://www.tokorozawa-nishirc.net/

4つのテスト ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか 1.点鐘…会長 2.斉唱…ロータリーソング 3.来賓紹介 4.会長・幹事報告 5.委員会報告

## 第 1779 回 例会 2025・11・11

===== 23,000 累計 285,000 円

卓	話	例 会 当 番	記念祝福
11/11 「豚があなたと日本の 未来を救う!」		堀江 大	*11月会員誕生 小暮 博攵 木村 孝子
(株) フリーデン代表取締役社長 小俣 勝彦様			*11月ご夫人誕生 本橋 章子 内田 千景
11/18 移動例:		室伏 秀樹	本橋育代

■出席報告			
月日	10/28		
会員数	40		
出席者	28		
入会者数	0		
退会者数	0		

会長の時間

内野 忍



皆様こんにちは。本来ならば 10 月 14 日にガバナー公式訪問が行われる予定でございましたが、諸事情があり中止となった為、皆様にお会いするのが 3 週間ぶりですが、お変わりありませんでしょうか?

さて、あれほど暑かった夏も終わり暦の上ではそろそろ冬が近づいてきましたが、まだまだ秋には頑張ってもらって実りの秋をもう少し堪能させてもらいたいなと思っております。

本日の会長の時間は実りの秋と言う事で、秋の食

べ物の話をしようと思いましたが、本日は卓話の講師として こだわり村の加園 一茂様に来ていただきましたので、農作物は何が美味しいのか、とは言っても何食べても美味しいと思うのですが、その中でも何がお勧めなのかをお聞かせいただければと思います。と言う事で農作物の話は加園 一茂様に任せて、私は秋の海の味覚の代表ともいえるサンマについて話をさせて頂こうと思います。

皆さんサンマは味わいましたでしょうか?今年のサンマは近年まれにみる豊漁だそうで、私も先月 訪れた北海道で丸々太ったものを堪能致しました。

そのサンマですが、名前の由来には2つの説があるそうで、細くて長い姿から狭い食用の魚という意味で「サマナ」が変化してサンマと呼ぶようになった説と、大群をなして泳ぐ習性を持つことから「大きな群れ」を意味する「沢(さわ)」と「魚」を意味する「マ」からなる「サワンマ」が語源となった説があるそうです。

また、サンマという漢字は秋の刀の魚と書きます

が、明治時代の文豪、夏目漱石の著書である「吾輩 は猫である」のなかでサンマは漢数字の三と馬と記 しております。現在皆さんが読み書きしている秋の 刀の魚という漢字の表記は大正時代まで登場しな かったそうです。

生物学的特徴としては、上下顎はくちばし状で下あ ごは上あごより突出した形状。胃がなくて、腸が短 いため摂食したエサは20~30分程度の短時間 で消化して排出されるので水揚げされても傷みに くい為、ワタまで美味しく食べることが出来るそう です。

私はサンマの身はワタを食べるためのおまけだ と思っているくらいサンマの内臓は大好きです。

朝晩だんだん寒くなってきて、冬の味覚も楽しみですが、もう少しだけ秋を堪能したいと思いまして、 本日の会長の時間とさせていただきます。

#### お客様紹介

栗原 和明副会長



本日のお客様を 御紹介いたします。 卓話の講師は(有)産直がループ こだわり村 部長 加園 一茂様です。お客様は会員の室伏 秀樹さんのご子息 ヨシケイ埼玉 社長 室伏 裕司様と商品部長 陶山 徳基様です。どうぞ宜しく御願い申し上げます。



#### 幹事報告

徳江 和宏

- ハイライトよねやま vol. 307 2025年10月14日
- 国際ロータリー会長代理の派遣について(ご報告)
- 地区決議(案)
- n-タリ-財団「海外派遣」奨学生募集 締め切り 2026 年 4 月 30 日 (木)
- 新「学習トピック」のご案内&クラブ細則等のご共有のお願い
- 25-26年度 台北国際ロータリ年次大会へのお誘い2026年6月14日(日) 美福大飯
- ◆ 公共イメージ委員会 クラブ活動情報の効果的な発信について
- 姉妹クラブ・友好クラフに関する情報提供のお願い (2025 年 11 月 30 日 現在)
- 例会変更のお知らせ・・・・所沢 RC
- 週報・・・・入間南 RC. 新所沢 RC

### □ 今日のソングリーダー □



\*クラブ管理運営副委員長 木下 公次

#### ニコニコボックス

青木 芳憲

**内野 忍** 今日はたくさんのお客様に来ていた だきまして、有難うございます。加園 さん 卓話 宜しく御願い致します。

徳江 和弘 加園様 本日は宜しく御願いします。上野 孝二 3ヶ月 お休みしました。これからもよろしくお願い致します。

**鈴木 真澄** 今日の卓話 加園様 ヨシケイの社長さん お忙しいのに来て頂き 有難うございます。楽しみにしています。

**深井紀美子**(有)産直グループこだわり村 部長 加 園様 宜しく御願い致します。

木村 孝子 本日のお客様 (株) ヨシケイ埼玉 社長

室伏 裕司様 商品部長 陶山 徳基様 卓話宜しく御願い致します。

室伏 秀樹 こだわり村 加園さん 卓話宜しく御願い致します。私の息子 ヨシケイ埼玉社長 室伏 裕司と商品部長 陶山 徳基も傍聴させていただきます。

高橋 和男 加園様 本日はお忙しい所有難うございます。興味深い話ですので 楽しみに」しています。

金岡 悟 先日は「直前会長 お疲れ様会」開いて 頂き有難うございました。参加の皆様 と楽しい1日を過ごすことができま した。本日卓話 加園様どうぞ宜しく お願い致します。

卓話「川越の地に江戸時代から伝わる 自然循環型農業を守り続ける」 (有)産直グループ こだわり村 部長 加園 一茂様



# ♥ 講師紹介 プログラム副委員長 室伏 秀樹



産直グループ こだわり村 部長 加園 一茂さん に卓話をお願いします。川越城主 柳沢吉保の「三富開発」から 360 年 武蔵野の落ち葉堆肥農法が、

世界農業遺産推進協議会から認定されました。こだわり村は、生産し日本中の仲間とネットワーク化し、販売もしています。では、宜しく御願い致します。

### 

私たち産直グループこだわり村は川越で伝統的な農法を守りながら、特別栽培農産物を生産している農業生産グループです。高度経済成長期、化学合成農薬や化学合成肥料が多く使用され始めた時代、川越の生産者が集まり、地元の学校給食で使用する野菜は化学合成農薬や化学合成肥料に極力頼らない安全・安心な野菜を栽培しよう、そしてこの地で300年以上続いている伝統農業である落ち葉堆肥農法を守っていこうという決意をもとに、有機農業の生産者グループを発足しました。現在も同じ志をもった仲間達と共に極力農薬や化学肥料に頼らず、伝統農業を守りながら主に里芋・さつま芋・人参・小松菜・長葱等を栽培しております。

川越地域では江戸時代から伝統農業が受け継がれております。今から約360年前、川越藩主の柳沢吉保によって農地開拓が勧められました。農地開拓以前の川越地域は、関東ローム層に覆われた痩せた土地で、萱原と疎林からなる中世以来の広大な原野のままでした。川越藩主の柳沢吉保は、川越地域の農家が安定的に農業を出来るように、区画を整備・計画しながら農地開発を行いました。区画の内訳は道路側に家を建て、その外側を畑とし、さらにその奥を秣場・山林(ヤマと呼ばれた雑木林)としました。

山林には畑に使う堆肥の原料になる落ち葉を出し やすく、木(薪)が燃料にもなるコナラ・クヌギ、 さらには建築用材としてのアカマツ等を中心に植 林されました。現在の川越市、所沢市、ふじみ野市、 狭山市、三芳町には雑木林が多い印象を受けると思 いますが、実はそのほとんどが、江戸時代の農地開 発によって出来上がった風景なのです。

雑木林から出た落ち葉を堆肥にして目の前にある畑に還元し、農産物を生産する。雑木林を管理し、維持継承していけば、永久的に自分たちで肥料を手に入れることができ、農業を続けていくことができます。これこそまさに江戸時代から伝わる自然循環型農業なのです。

川越市、所沢市、ふじみ野市、三芳町に江戸時代から伝わるこの農業は、2023年7月、「武蔵野の落ち葉堆肥農法」として国連食糧農業機関(FAO)によって、関東初の世界農業遺産に認定されました。最近では野菜を加工した時に出るクズを捨てずに炭(スミ)にして畑に還元する新しいかたちの自然循環型農業にも取り組んでいます。

私たち産直グループこだわり村では自然循環型 伝統農業を沢山の人達に知ってもらうべく様々な 取り組みをしています。その一例として㈱ヨシケイ 埼玉さんとの取り組みを紹介させて頂きます。約20 年前から毎月1回ヨシケイ埼玉さんの社員研修の一 環として私たちの畑や雑木林に来ていただき、伝統 農業や有機農業の説明、収穫の体験をしてもらって おります。そしてヨシケイ埼玉さんの社員さんや広 報誌を通じて消費者の皆様にも川越に残る伝統農 業を伝えて頂いております。ナショナルトラストで はありませんが、ヨシケイ埼玉さんやヨシケイ埼玉 さんのお客様が私たちの野菜を使ってい頂けると いうことは、その経済活動をもって川越の伝統農 業・川越に残る雑木林(自然)を守ってくださって いることに繋がっているのです。

現在、円高による肥料や資材費、燃料代等の高騰、 そして近年多発している異常気象により農業を続けていくことが大変厳しい時代となっております。 川越でも耕作放棄地や継ぎ手不足の問題等、大変困 難な状況です。それでもこの地に残る伝統農業・雑木林を残し、これからも消費者の皆様に安全・安心な農産物をご提供するべく、地域・お客様と連携して農業に励んでいく所存でございます。

結果は優勝 中 毅志さん、準優勝は 鈴木 伴忠さんでした。おめでとうございます!表彰式及び懇親会は、皆様で楽しく行いました。

(ゴルフ担当)



